

第9回東京ベイ eSG プロジェクト国際発信実行委員会総会議事要旨

2024 年 7 月 5 日

日時：令和 6 年 7 月 4 日（木）13 時 30 分から 14 時 15 分まで

場所：読売新聞東京本社 13 階 ABC 会議室（オンライン形式併用）

1 開会

2 報告事項

SusHi Tech Tokyo2024 ショーケースプログラム開催報告について

3 審議事項

（議案 1）令和 5 年度決算について：異議なし

（議案 2）東京ベイ eSG プロジェクト国際発信実行委員会財産管理処分規程について：異議なし

4 その他

（報告事項）諸規程の変更について

（報告事項）今後のスケジュールについて

ショーケースプログラムの所感について（有識者委員より）

5 閉会

■SusHi Tech Tokyo2024 ショーケースプログラムについて有識者委員による所感

○会場の様子について

- ・ ビジネス層からファミリー層まで幅広い方々に楽しんでもらえた。未来館は特にファミリー層が集まり、良い雰囲気だった。
- ・ モビリティの多様性や可能性を見て、体験できる場とすることができた。
- ・ 多くの次世代の人たちが体験ブース等で話しながら楽しんでいる様子を見て、議論して作り上げたものが都民に届いていることを体感でき、大変嬉しく思った。

○これまでの議論の成果について

- ・ 東京の魅力、これから東京が進む方向性を幅広く発信できた。
- ・ 今後の臨海副都心エリアでの社会実験や取り組みのきっかけとなった。
- ・ 2050 年の都市問題をグローバルやローカルな視点で検討し、高い理念を掲げて議論して作り上げたイベントであった。
- ・ 都民に対して、門戸を広げる楽しい形での問題提起や、一緒に考えようというメッセ

ージを投げかけることができた。

- ・ 委員及び事務局の調整、事業者の企画を通じ、様々な角度から意見を頂き、このようにショーケースプログラムとして形にすることができた。
- ・ 予算内で 60 万人達成し、アンケートでも良い結果が得られた。素晴らしい成果である。

○反省点について

- ・ 大きなイベントに際してブースにスタッフの荷物の置き場がない等、細かな反省点も今後イベントを行う上で、活かしてもらいたい。
- ・ イベントの発信面等でもっと委員としてできることがあったのではないかと考える。
- ・ 委員会での発言がどのように形になったのか、また、どのように効果的だったのかを明らかにすることで次に活かしていけるのではないか。

○今後への期待・提案について

- ・ このイベントを通して、都民に広く 2050 年の東京に向けた頑張りや挑戦を伝えられた。課題については必ず振り返りをして改善し、継続して頂きたい。
- ・ イベントを続けることで、3 年後 5 年後素晴らしい変化や成長があると考えており、期待をしている。
- ・ 実際に現場を見て、体験できる等といった、ショーケースプログラムならではの良い点が多くあったので、続けていって頂きたい。
- ・ 東京都がこんなに挑戦していると都民に思っただけ、そんな生き生きとした東京都であることを一都民として望んでいる。
- ・ 今後デジタルなどを使いながら、サステナビリティの意識を高める啓蒙活動が続けるべきではないか。
- ・ イベントに向け築いたプラットフォームやフレーム、フォーマットを地方に展開する等、東京都がモデルケースを作っていけると良いのではないか。
- ・ 若手のビジネスパーソンの女性が委員を務めたのは珍しいフォーメーションだった。今後も、こうした取組を続けていって欲しい。
- ・ 東京にも様々な課題があり、これからますます魅力を磨いていかなくてはいけないと考えている。今後の課題として、次はどう活かせるか、議論を続けたい。

以上